

◎山東省鑛山利權 日獨講和條約諮詢修了と同時に

支那山東省下は支那に還附するとして其地方の鑛山利權は依然帝國が獨逸の後を繼承することは當然であるが、右に就き最近支那山東省下の鑛山事情を調査して歸來した某工學博士は次の如く語つた。山東省下の鑛山事情を調査するには主として獨逸と支那との戰前の條約を研究せねばならぬ、千八百九十八年膠州灣委附に關する條約中第四條に於て『各鐵道線路より三十清里の地帯特に膠濟鐵道にありては維縣博山の地に、膠斤鐵道に在ては斤州萊蕪縣の地に於て獨逸が石炭の採掘其他の企業並に必要なる公共的事業を營むことを許可す、其際獨逸國及支那商人は其企業に對し共同に投資することを得』と規定せり、尙ほ千九百十一年鑛山權還附に關する取極書中其第一條第四項に於て『鑛山會社元來の目的は博山及淄川の兩縣下に於ける三十里地帯内の鑛山權全部を保持するに在りしも今や特別の友情を表しせむ爲め博山縣下の鑛物採掘權は全然之を還限することとは同意す、又淄川鑛區にありても大釜山より龍口鎮を経て西北に向ひ淄川縣の東部に達する斜線以南の地區は支那の自由鑛業に委するものとして之を還附す』同第二條第一項及第四項に於て『山東鐵道沿線にありては會社より還附せ

られたる章邱淄川及博山縣下の鑛區は千九百二十年まで支那人に依り大規模の鑛業を開始さるゝを許さず其以後に於ける此種鑛山業の開始は支那官吏及商人の判定に委するものとす』又『支那政府或は支那商人にして本取極書に依り還附せられたる鑛區に於て鑛業を開始せむと欲し充分の資本を有せざる場合には獨逸より借款するを要す、又外國の材料或は機械を使用する必要ある時は獨逸製品を用ゐ尙外國技師を傭聘する場合は獨逸人を聘す可し』と取極めてある、之等の權利を繼承するは勿論獨逸との取極めに從ひ鑛區を支那政府に還附しても支那政府に於て一般的に承認せる日支合辦の確利を從來の如く妨害することなく直に許可を與ふるやう充分なる保證を得たいといふのが在留邦人の切なる希望である、即ち從來は支那政府が明確に日支合辦を承認して居ながら一度官憲に許可を願ひ出づるや容易に之を許さざるのみならず、共同の支那人を種々に威嚇して之を妨害し出願は官憲の手に握り潰されて今日まで殆ど許可を得た例が無い、されば在留邦人は己むを得ず表面上支那人の名義を以て事業の經營に従ふの外なく其れですらも意地悪き支那官憲は邦人との共同經營を妨げて代表名義人たる支那人を威嚇する、致し方がないから支那人を以て官憲に賄賂を贈る、斯かる有様で兎も角も博山炭田に於て邦人の關係せる炭坑六十三箇所、之に對する邦人の投資四百萬餘圓を在留邦人四百餘人に割當ると一人一萬圓の割合となる

而して之は全く表面に現れざる邦人の事業である、幾多の不利不便は到底免れないが之を忍んですら此投資經營あり若し日支合辨を事實上に認めしめ之を實行された曉には邦人の活躍は更に目覺しいものがあるであらう、支那官憲の不都合なるは言ふに及ばず、之を黙過して居る我當局の態度に至つては洵に解し兼ねる、外交官は此機會に於て充分商賣氣を以て山東省下のみならず、支那全土及び西伯利方面の事に當らねばならぬ。(帝國)

◎財政經濟調査會總會 臨時財政經濟調査會總會は十一月十日午前十時より永田町首相官邸に於て開會、原會長は腰越の別荘よりの歸途汽車に故障を生じ遅刻したるに付き、山本副會長代つて會長席に着き先づ諮問案第三號及第四號に就きて崎川鑛山局長、若宮管船局長より夫れ説明をなし、左記十三名の特別委員に附託し午餐を共にし午後二時散會せり。

犬塚勝太郎、山岡順太郎、秦豊助、岡崎邦輔、岡田啓介、寺野精一、中島久萬吉、武田秀雄、香村小録、小田柿捨次郎、今岡純一郎、大河内正敏、山下龜三郎

尙ほ特別委員會は直に別室に於て開會、岡崎邦輔氏を委員長に選定し、次週より水曜日午後五時より首相官邸に於て開會するに決せり、當日の出席者左の如し。

高橋、串田、小山、郷、橋本、濱口、林、犬塚、梶原、山岡、岡、古賀、鈴木、秦、井上、岡崎、片岡、神野、

澁澤、岡田、門野、寺野、坂本、中島、松方、斯波、磯村、安川、武田、香村、石丸、堀、淺野、岸本、小田柿今岡、大河内、近藤等の各委員及高橋副會長
諮問案第三號及び第四號の説明大要左の如し。

製鐵業の振興に關する根本方策如何(諮問案第三號)

説明 本邦の製鐵業は急速の發達を爲し、其の生産額戰前に倍加するの盛況を呈したりと雖、休戰條約の締結を見るに及びてより鐵價は暴落を告げたるを以て當業者は事業の前途に多大の不安を感じ種々の保護的施設を政府に要望するに至れり。

我國に於ける鐵鋼材の需給關係を見るに、大正七年の需要額は銑鐵(製鋼原料を含む)八十三萬二千噸、鋼材百十七萬三千噸にして之に對し内地の生産額は銑鐵六十萬六千噸、鋼材五十四萬噸なりしを以て其の不足額銑鐵二十二萬六千噸、鋼材六十三萬三千噸は之を輸入に求めたり、又原料鐵鑛の需要額は九十九萬七千噸にして之に對し内地の産額は三十九萬八千噸に過ぎざりしを以て其不足額中二十三萬七千噸は朝鮮より移入し、爾餘の三十六萬二千噸の供給は之を海外に仰ぎたり。鐵鑛需要額が右の如く比較的少額なるは鐵鋼材の輸入多き結果にして、若し大正七年に於て本邦所要の鐵鋼材を全部自給するものとせば同年に於ける鐵鑛需要額は約三百萬噸の巨額に上りしなるべし、惟ふに將來國運の發展に伴ひ鐵鋼材需要額の漸次増大すべき疑なき處

なるが、我國は鐵鑛に付き天賦厚からず、隨て内國に於て製鐵業の發達を期せむとせば、之に要する鐵鑛は主として之を海外に求めざるを得ず、事情右の如しとせば將來内國製鐵業の振興を計ると共に一面滿洲其他に於て邦人の經營する製鐵業の發達を促し彼我の間に圓滑なる連絡を保持せしむるに付き相當の施設を爲すの要なきや、又鐵鋼材關稅率改訂の問題は戰後に處する施設として最も考慮に値すべしと雖、此等の事たる將來の製鐵方針と密接の關係を有するのみならず各種工業の消長に影響する所甚だ大なるものあり、故に若し關稅率改訂の要ありとせば如何なる程度範圍に於て之を實行するを適當とするや。

造船業の維持發達に關する根本方策如何(諮問案第四號) 説明 造船獎勵法は本年十二月末日を以て施行期間満了し、特に法律又は之れに代るべき緊急勅令の發布に依り、其の期間を伸長せざる限り、明年一月より當然消滅すべし該法は明治二十九年三月初めて發布せられ、十五箇年の施行期間を有せしが、明治四十二年三月に至り改正を加へられたる際施行期間を明治四十三年より十箇年とし、實際に於て七箇年を伸長し以て今日に及べり。

本邦造船業が該法の施行に依り漸次進歩し來りたるの事績は之を説くを俟たず、しかも其の最も顯著なる發達を遂げたるは實に歐洲大戰の影響に依るものにして、一昨年該法の施行を一時停止し而して其造船能力に於ては世界第三位

を占むるの盛況を見るに至れり、此の盛況は今後に於ても之を維持し發達せしむるを緊要とす。

然らば右方策は如何に之を確立すべきか現行造船獎勵法を存續すること亦其の一方方法たるべし、然れども一昨年該法の施行停止を適當なりとせしめたる事由は當分の間依然存續すべしと認めらるるが故に今日に於て定むべき永久に至る一般方策として現行造船獎勵法を復活伸長するは保護厚さに失するの嫌なきや、然るに本邦造船業は之を外國に比し根本的に幾多不利の點あり、就中造船材料並艤裝品は主として之を外國に仰ぐの結果之れに對する關稅及運賃等を負担せざる可らず、此等の不利を排除するは本邦造船業をして外國の競争に堪へしむる爲めに緊要にして造船獎勵法は實に此の主旨に基きて制定せられたるものなり、然れども運賃保險料等に相當するものは時々變動ありて今日の獎勵金は只其の一部に過ぎざるの狀況を呈し居り、且つ本邦造船業の現狀に鑑み之を補償せざるも可なりと認むるも關稅は一定にして其の免除は實行し易く、而して之れが負擔を免れしむることは本邦造船業をして外國造船業との競争に堪へしむるが爲めに效果甚だ大なるものあるべし、加之實際に於ては此の關稅免除の問題は單に我海運業に使用すべき船舶の材料に對する關稅免除の問題たり何となれば現行制度に於て獎勵金を受けざる船舶にして外國に輸出するもの、材料に付ては戻稅の特典に依り關稅を免れ得べく

從て造船獎勵法を復活伸長せざる曉に於て關稅免除を實行せざるときは我海運業に使用すべき船舶のみ獨り關稅を負擔することとなり、甚不權衡にして且つ我邦の船主をして著しく不利なる地位に立たしむるに至るを以て關稅を免除し戻稅の制度を廢し彼此均等ならしむるを適當とするが如しと雖も、若し保護の方法として造船獎勵法に代ふるに單に造船材料並艤裝品の輸入免除を以てするときは國家は造船上に關し何等の條件をも附加し能はざるを以て、國防の要具として軍事上の要求を充足し、且つ將來世界的海運競争場裡に出入し得べき優良船を得ること困難なるのみならず、一面近時發達の緒に就きたる本邦製鐵業にも影響を來すべし、即ち本件關稅免除は本邦製鐵業と密接の關係ありて本邦製鐵業に對する根本方策の確立と共に之を解決するを適當とすべし。

◎財經調查會特別委員會 臨時財政經濟調查會第

三號 第四號諮問案の一括せる特別委員會は十一月十九日午後五時より永田町首相官邸に於て開會、

岡崎委員長、犬塚勝太郎、香村小錄、大河内正敏、秦豊助、山岡順太郎、岡田啓介、斯波忠三郎、武内秀雄、小田柿捨次郎、今岡純一郎、山下龜三郎、今泉嘉一郎の各委員、岡本商務局長、松本主稅局長、崎川鑛山局長、若

宮管船局長、服部製鐵所技監、堤船舶課長の各幹事

出席し、開會と同時に先づ岡崎委員長より簡單なる就任の

挨拶ありたる後審議を進むる方法に就き委員に諮る處ありたる結果更に第三號及第四號諮問案に對する詳細なる内容に關して責任者より説明を聽取する事とし、第三號案に就きては崎川鑛山局長より極めて具體的に其内容に關して説明を試み、夫れより當日特に委員會に出席せる澁澤男より製鐵に關する意見の披露あり、五時五十分一同晚餐を共にしたる後六時四十分繼續開議し各委員より製鐵事業に關して種々なる質問あり、之れに對し崎川鑛山局長、服部製鐵所技監より交々應答する處あり、之れにて第三號諮問案に對する大體の質問を終了し、續いて第四號諮問案の説明に移り若宮管船局長より是れ亦同様極めて詳細なる説明あり、各委員より造船に關する種々なる質問ありて今後繼續開會答申案の進捗を圖ることとして午後九時散會せり、因に中島久萬吉男特別委員を辭し郷誠之助男之に代り、更に斯波忠三郎男今泉嘉一郎博士特別委員として追加任命されたり。

更に同二十六日午後五時より永田町首相官邸に於て開會 岡崎委員長、郷誠之助男、犬塚勝太郎、山岡順太郎、秦豊助、岡田啓介、寺野精一、斯波忠三郎男、武内秀雄、香村小錄、小田柿捨次郎、今岡純太郎、大河内正敏、今泉嘉一郎

の各委員、崎川鑛山局長、服部製鐵所技監、岡本商務局長、松本主稅局長、若宮管船局長、堤船舶課長、下條内閣書記

官の各幹事出席し前回の委員會に於る審議を進むる方法として政府に對し製鐵、造船に關する詳細なる調査材料の配付を要求しありたるを以て開會と同事に幹事より各委員に調査材料の配付を爲し委員より極て緻密なる質問あり、製鐵事業に關しては崎川鑛山局長、服部製鐵所技監より、造船に關しては若宮管船局長、堤船舶課長より應答する處あり午後六時休憩一同晚餐を共にし七時引き續き開議し各員幹事との間に種々質問應答を累ねたる結果製鐵、造船共に茲に大體の質問を終了し次回よりは答申案の具體的項目に就き逐條的に審議調査を進むることとし八時半散會せり。

◎製鋼職工罷業と米國鐵鋼界

在紐育 守谷生

九月市況 本年の鋼鐵の積荷を定むるに多忙を極めたる故八月に於ける市報御送付致し兼たる次第に有之候當亞米利加に於けると同様日本市場に於ても定めし多大なる進歩をなせること、愚考仕り候八月は休戰調印以來當地鋼鐵市場にて恐らく最も多忙なりし月に有之候内地の需要多きに加へて海外諸國よりもドシ／＼と註文有之、日本も總べての鋼產品（殊に鐵棒、薄板、型物、鐵板、釘、亞鉛引針金、針金棒）等につき多大の註文を致し候外國貿易は外國の買ひ手に非常に不利ある事實あるにも係はらず外國の註文なか／＼有之候この内外の大需要のため工場にては今年發送の相場を述べるは差控へるの餘儀なきに至り候、勿論尙二

三の工場にては或材料につき工場より四週間乃至五週間の積荷の相場を述べ居り候へどもかゝる工場は極めて少數に有之候當地の鋼鐵工場の勞働狀態に就きては同盟組合が大ストライキをなすの虞有之候米國に於ける最大鋼鐵會社たる米國鋼產會社は開業中に候へども組合に屬する勞働者を使用するを欲せず候、該會社の社長は同盟組合の代表者と協議の爲會合するを拒み候尙巷間傳ふるところによれば米國製鋼會社にては組合員となれる者はすべて解雇せる由にて、その爲組合の幹部連のみならず組合員も怒りを發せる由に有之候組合の頭領連は鋼鐵のストライキをせんと威嚇し居り候へども拙者の信ずる所にてはウキルソン大統領は組合の代表者達及び米國鋼產會社の社長ジャツヂ、ゲリー氏と商議すべし、かくして大ストライキは避けらるゝことと信ぜられ候されどストライキの爲めに工場を閉づるの餘儀なきに至りし工場も多々有之、ニューポート工場、アンドリユウ鋼鐵會社等の如きはその例に有之候概して申せば鋼產品の價格は八月より約十パーセント騰貴致し候針金、釘、シート等の價は十パーセント以上、鐵棒、型物、鐵板等は約五パーセント騰貴し、電氣薄板のみ從來と同値に有之候、現下は鐵棒、型物、鐵板、鐵管、電氣薄板を註文するに最好期と存じ候。

十月市況 現在市況の結果如何は何人も解釋に苦しむ所に候目下精巧品の相場を發表し居る工場は一つも無之、唯二

三工場にて釣針、口鐵及び重鐵板等の相場を言ひ居り候へどもその價格非常に高價に候。

◎鐵市場軟弱原因 物價騰貴の趨勢は滔々として其底止する處を知らざるに拘らず鐵材相場は目先に輻輳せる英米高、獨白の輸出難、勞銀原料高、運賃高等を無視して伸力なきのみならず八月頃の高値より却つて漸落歩調を辿りつゝあり最近の相場を八月中旬に比すれば左の如く一齊安である。

	現在相場	八月高値	比較安
漢陽 銑	一五〇圓	一六五圓	一五圓
棒 鐵	二〇五	二四〇	三五
型 物	二三〇	二七〇	四〇
板 鐵	二二〇	三〇〇	八〇

右によれば銑の十五圓安は比較的手堅き分にて、棒鐵は三十五圓と一割四分、型物は四十圓と一割五分弱方低落し、板鐵厚物に至つては八十圓と二割六分強の暴落を演じて居る、而して斯の如く鐵材の不味軟弱なるは本邦市場に於ける特異の現象にして最近入電によれば、米國銑鐵は勞銀石炭高、鐵道運賃高を氣構て百三十圓本邦沖着百三十圓と外電より十五圓方騰貴し英國クリブランド物は沖着百二十圓と米銑より十五圓方下鞆なるも是は輸出禁止のため絶對に輸入が困難である、而も英米に於ける勞銀運賃は先行騰貴する一方なれば本邦の鐵相場も當然英米の強調と輸入難に加へて内地に於ける製鐵費の増加等目前に差控たる事情

により當然騰貴すべきである然るに右の如く不味漸落を演ぜる低落原因は全く對内的關係である、即ち九月以來各種の勞働問題の續出により各工場の消化力激減せると勞銀高により製品の賣行き少々敷からざるため各種鐵工所の需要減少せるとに基因し需要筋も目先の當用口の買附けに止まり長期の見込み買をなさざるに因る、而して一方製造會社の採算は礦石は高値品を手持し石炭運賃等も騰貴する一方なれば勞銀高と相俟つて銑一噸の生産原價は百三十圓に該當し現在相場にては採算不引合なるより製品を賣放たざるため各社の在荷は約五萬噸に達すべく鐵商問屋の手持高も二三萬噸に上つてゐる即ち需要の減退より在荷過剩となり金利高、月末接近等の事情より思惑筋の投資となり一方需要方面に依然沈滞して活潑ならざるより氣迷ひの姿にあるものなるも這は一時の變調にして早晚大需要喚起さるべく殊に各製鐵會社も操業短縮か其他の方法によりて在荷の減少に努むべく英米鐵相場も減收と漸騰を免れざるべく現在の在荷製造會社の五萬噸、問屋筋の三萬噸は平時二ヶ月の需要に足らざるものなれば早晚擡頭し市價も見直すべく遅くも明年三四月頃に活氣を呈すべく觀測されてゐる、次に各銑鐵品の前途に就て見るも米國品は製鐵及石炭其他輸送關係の罷業により輸入少々敷からざると英國も同様の状態にあり、又戦前に於ける有力なる製鐵國たる獨逸は秩序回復せず金融關係も圓滑ならざるものあれば當分輸出不可能

てあり、白耳義品の供給も期待されぬし一方内地の生産は各製鐵會社とも勞銀材料高により損勘定となり採算不引合にて生産力減退し在荷も五萬噸といふ僅少なれば今後官公衙の土木、建築事業の復活造船業の恢復等の新需が喚起すれば直に品拂底を免れぬ、銑鐵始め各種鐵材が不味の成り行々を迫れるは需要家の見込買杜絶し随つて仲間取引の不振なると思惑を試みんとすれば金利高きため資金の調達困難なると手持品は高値品なれば現在の安値にては賣放されず、鐵關係は一般に休戰以來大打撃を蒙りて思惑心を頓挫せる等の事情により氣迷ひの状態にあるに因る、併し内外に前途好材料の輻輳せるあり各種鐵材が不味なるは要するに需要家の假り需要杜絶と仲間取引の不振と新に思惑買を試みんとすれば金利高の爲資金の調達困難なると現在の高値手持品を安値に賣放つ勇氣なきとに依り鐵材關係は全く行詰まりの姿にあるに因る、併し内外の前途には好材料が輻輳してゐるし戰時中遺棄されし各公衙の諸事業も會計年度代りより着手せられんとしつつかれば沈滞せる需要も漸次擡頭し來るべく遅くも明年三四月頃には活躍すべく期待されてゐる。

◎各國鐵鋼貿易

其筋の調査に係る最近各國鐵鑛輸出入狀況を見るに鐵鑛の輸出入は石炭の産出銑鐵の生産と大關係あるものなるが、今千九百十三年の鐵鑛輸出入統計を見るに主要なる輸出國は悉く石炭を有すること少し、例

へば其第一位にある佛蘭西は十萬噸の輸出あり、西班牙の輸出額は七百五十萬噸にして第二位を占め、瑞典は六百萬噸にして第三位にあり、此他玖瑪及びニュージーランドに於て生産する百五十萬乃至六百萬噸も亦悉く輸出せらる、而して鐵鑛輸入額多き國は石炭國にして又製鐵の盛んなる國なり、千九百十三年獨逸は約千四百萬噸を輸入して世界第一位を占め、英國七百萬噸白耳義六百萬噸にして第二位の順位にあり、若し夫合衆國にありては鐵鑛石炭の自給自足の域にあれば製鐵上殆ど理想の國土なり、輸入の少額に依り製鐵國としての輕重を云爲するを得ざる可し、戰爭の影響最も多かりしは製鐵輸出入關係にて戰前最多額を輸入せし獨逸と最多額を輸出せし佛蘭西が戰爭のため全く其現狀を變ぜるは勿論にして其他瑞典、西班牙の鐵鑛輸出に大變化を蒙りしも亦事實なり、然れども各國間の輸出入狀況及び其數字に至つては殆ど正確を知るを得ず、合衆國は大體自給自足し獨逸も其占領地の鐵鑛採掘によりて平生の輸入額の缺を補ひたるは確なり、佛蘭西が輸出を防止せるは勿論英國も亦其産鐵額を減少せざらんがために大いに石輸入を試みたるも未だ精密なる數字は知るを得ず。

◎歐洲石炭饑饉

本年冬季間世界の要する石炭は一億七千九百五十一萬一千噸にて、内九千七百七十二萬八千噸は米國以外の諸國より供給さるべき見込みなるも、残り八千七百七十八萬三千噸は米國に供給を仰ぐより他に方法な

く、然も米國現時の状態にては僅に千九百三十二萬五千噸即ち米國供給期待量の四分の一を供給し得るに過ぎず、結局六千二百四十四萬八千噸の不足を生ずる譯なり、世界中石炭缺乏の最も甚しきは佛蘭西、瑞典、西班牙、瑞西、獨逸、埃國及ハンガリー、チエツク、スラビヤ、ユーゴ・スラビヤの諸國なるが前記六千二百四十四萬八千噸の石炭不足額を米國より供給し得べしと假定するも、其の運送に使用する船舶は五千噸級のものにて、一萬二千五百艘を要すべく、又六萬人の炭抗夫が一年間休みなく全速力にて採掘せざれば到底夫程の石炭を得る能はざるを以て歐洲にては早晚石炭大饑饉實現すべしと。

◎俱知安鐵鑛開發 北海道東俱知和安線は愈開通したるが従來北海製鐵會社が主として原鑛を採取せる虻田は既に盡き、敷生又同じく窮乏したれば今後は白老の採掘に努むると同時に東俱知安鑛を開發すべきも尙ほ設備の整はざる點あるに依り、今冬中は一日百噸見當を輸送するに止め融雪後大に發展すべしと。

◎内國製鐵創立 資本金四百五十萬圓全額拂込みを以て創立中なる金田商會の内國製鐵株式會社は總株九萬株は高田商會及關係者に於て全部引受け濟みとなりたれば、十一月三十日頃創立總會を開けり。

◎支那鐵鋼情況

(支那鑛業時報)

◎龍煙鐵山近況 昨年八月の遼東時報に今日の龍煙鐵山として知るれたる龍關鐵山に就ての論文中豫て所有者間に惹起したる爭執の正しく解決せられたる記事あり京張鐵道の管理者テンゲー氏は次の如き布告をなせり。龍關鐵山の所有主等は宣化山及び龍門に跨れる地域の採掘權を獲得し尙ほ宣化附近の煙筒山にも鐵鑛床發見せり、是等の二鑛山を合せて今日龍煙探鑛公司として知らるるに至れり、上記會社の固定資本金は五百萬弗にして其の半分は政府他は資本家及び公衆によりて募集せらる。上記財團は支那側及テンゲー氏等より成立し、政府は持株以外の資本金の五分の三を、公衆は残りの五分の二を出資し、鑛區は千九百十三年アンダーソン技師によりて調査せられ有效鑛量約三千五百萬噸乃至四千萬噸ありと云ふ、其の後約四萬噸の鑛石漢陽製鐵所に送られたるもそは熔鑛用機械の購求且つ鑛石の特性を研究するの必要上輸送したるものにして、其の成績今日迄頗る好しく鐵分五十パーセント以上なりと云ふ、鑛石の産出は己に一日六百噸を超過せり、尙ほ漢陽製鐵所の第四熔鑛爐より産出せる銑鐵の分析結果を示せば次の如し。

第一普通銑鐵

硅素 滿 俺 硫 黃 燐

11.00—11.50% 0.5—1.00% 0.03—0.05% 0.1—0.2%

特種銑鐵

硅素 滿 俺 硫 黃 燐

0.1—0.2%

上記製鐵所にては來年熔鑛爐を設置せんと計畫中なり猶政府は農商部の探鑛科長及び地質調査所長を幹事に任命せり、米人二名は之が顧問技師にして已に其れが視察のため一人の専門家を派遣したるも現時技術的査察は龍煙採鑛公司支那職員によりてなされ且つ漢陽製鐵所より助力を仰げり。

◎天津に於ける山西の鐵況 今茲に天津に於ける鐵況を概説せんとするに當り産地に於ける大要より略述し以て本問題を解決せんとす。由來山西鐵は家具、農具を製作し支那中部より遠く北滿地方に迄移出せられ就中釜、鍋類は殆んど同鐵に限られたるもの、如く賞揚せられ來りしが、歐洲戰亂勃發後鐵材の不足を告げ價格暴騰に連れ日本商人の買出計畫を爲すものあるに至り、支那商人は從來鍋釜の製造を中止し鐵材として輸出を企つる等原産地に於ける經營の方針亦一變し熟、生鐵の製造に重きを置くに至りたるが機を見るに敏なる外人等は保晉公司の名義を以て全部の買占めを計畫し、陽泉に於ける各鐵間屋を糾合し、組合組織として百元株一千株(十萬元)の資本を以て新に鑛業公司を興し、督軍等と計り其成立を見るに至れるが縣署は命を受け本年三月一日附を以て今後山元より移出の鐵は三聯單附の場合と雖も二十噸車一車に對し銀三十元を鑛業公司に納付することを規定せり、其内十元は地方自治費學校經費等の

名目にて徵收し、其餘の二十元は督軍公署に納付することとせり、而して督軍公署は該公司に對し買入資金の支出を補助し其他各種の便宜を付與することを内諾せり。斯の如くして該公司は陽泉に於ける鐵の一手販賣を壟斷し之れが爲め日本商人等は原産地に於ての買出しに一頓挫を來せり然るに最近に至り鐵價は日に暴落し來り該公司の計畫に大蹉跌を生じ反て日商側は多大の損失を免るゝことを得るに至れり、前述の状態にて一時は農具、家具の製造高著しく減少せるも昨今に至り再び舊態に復しつゝありて一度鐵商の手に渡りたるものも更に之れを買戻して釜鍋の鑄造原料に供しつゝある有様なりと云ふ。

主要産地と爐數 同省に於ける産地は往古より北方大同府附近東方に平定南方に澤縣、汾州、孝義附近なりとす、然れども大同、汾州、孝義附近のものは交通不便の爲め多く同地方附近の家具、農具に供せらる從來主として外省に移出せられしは平定、澤縣附近のものなりとす。平定縣下其最も盛時期に於ては三十二個村に土法鑄鑛爐五百九十七基ありたるも、其後外國産の輸入及漢口製鐵所の移入せる爲め之れに壓倒せられ現在使用しつゝあるもの僅かに二百基に過ぎず。澤縣産と稱するものは鳳臺高平の二縣とす。鳳臺縣下に於て盛時には三十三個村に爐數三百五十八個ありたるも目下僅かに五十餘基に過ぎず。高平縣は前二縣に劣り熔鑛爐僅かに十五六基に過ぎず。因に鳳臺縣下には炸

爐房と稱する製鋼所三十二戸、爐四十六基あり。

製産額 一、平定 目下の製産高は約二萬五千噸にして

陽泉驛より汽車にて移出するもの一ヶ年二十噸、貨車一千

輛即ち二萬噸馬車及馱馬に依るもの約五千噸とす、移出鐵

は熟鐵と生鐵に分ち木炭及コークスを燃料として各種の加

工品を製出す、總産額の五割は熟鐵にして他は悉く鍋釜及

農具に製し之れを移出せるが、一昨年来鐵價騰貴の爲め鋼

鐵五割、熟三割、鍋釜類二割の割合にて天津方面に移出せ

り。二、澤縣産(鳳臺、高平二縣を含む) 製産高約三萬噸

とし、從來七割は熟鐵三割は鍋釜として移出せられたるも

一昨年十月以降は鍋類二、熟類三、生鐵四—五の割合にて

天津方面に輸出せられたり。以上の製品は今春來鐵價暴落

と共に一大打撃を受け製品の方法も自然復舊する事となれ

り。

移出狀況 一、平定産は汽車に依り陽泉より五太鐵道に

積み石家庄にて京漢線に積替更に京奉線に積替天津に至る

ものと、汽車にて保定に出し小津河を水路天津に至るもの

との二路ありて、天津より更に直隸及滿洲方面を主とし山

東方面へも僅かに移出せらるなり。二、澤州鐵(鳳臺、高

平二縣) 同地方の鐵は總て清化鎮に集り前者と同經路を

取るものと、道清鐵道に依り道口鎮に出て水路御河筋を天

津に入るものとあり、同産鐵の移出割合は河南二割、陝西

二割、直隸二割、山東一割合して其殘部は凡て天津に出て

更に滿洲及其他に移出せらる。

運賃諸掛 平定、澤州等の産地より天津に至る各移出經

路に依る運賃及税金諸掛左の如し。

一、平定より汽車便に依るもの(二十噸貨車一臺)

陽泉驛積込費(大洋) 三、〇〇〇

産地に於ける公費 五、〇〇〇

陽泉より石家庄迄鐵道運賃 七二、六〇〇

石家庄積卸費 六、〇〇〇

同 連絡費 五、〇〇〇

同 置場費 五、〇〇〇

石家庄豐臺間汽車運賃 一三七、二六〇

豐臺連絡費 四、〇〇〇

豐臺天津間汽車運賃 三六、〇〇〇

厘金税 五、〇〇〇

天津税金 六〇、〇〇〇

碼頭迄の運搬費 一二、〇〇〇

計 三百五十元八十六仙

右は二十噸貨車の場合にして一噸平均十七元五四三となる

若し連絡車を利用せざれば一噸に付約八元の低廉を見るべ

しと云ふ。二、清化鎮より保定迄汽車便に依り水運を利用

するときは(生鐵二十噸に付)

自清化至新郷運賃積込費 三〇、〇〇

自新郷至保定運賃積込費 二四八、二〇

税金(十四元)倉敷料(十元)

二四、〇〇

上乘費用(月給食費汽車賃)

一九、〇〇

自保定至天津船賃及積替賃

四二、〇〇

天津税金及水揚費用(一噸三元)

六〇、〇〇

計

四百二十三元四十仙

外に南村鎮迄の運賃は一駄二百四、五十斤に付一吊五、六百元なりとす。

天津市況 天津を経由するものは専ら銑鐵鑄物の鍋釜類を主とし其他器具之れに亞ぎ是等の多くは北支那及滿洲各地に供給せられ、是迄海外に輸出せられしことなかりしが一兩年來東洋に於ける材料の拂底の爲め日本内地に輸出を企圖し、大正六年三、四月より三井、大倉武齋洋行等に依り初めて輸出を開始せるが、最近平和克復と共に鐵價暴落せる船腹拂底の爲め天津在庫のものを輸出せんとするときは鐵價を算入せずして運賃及税金、積卸し等にて尙ほ且つ損失を招くの状態なれば一時の益況に反し目下鐵類を顧るものなき迄に至れり。平定、澤縣産其のもの鍍鋼及銑鐵加工品、鍋、釜、農具類は其數約五萬五千噸にして之れを北支那方面に三分の二、天津市場を経由するものは約三分の一即ち一萬八千三百三十噸なりとす、而して從來の輸入は加工品五割、鋼鐵三割、銑鐵二割の割合なりしが、昨年に至り俄かに變動を來し鋼鐵二割、銑鐵二割、加工品三割の割合となり、爲めに鐵器類は其打撃を受け加工品の價格亦

暴騰せるが今春來輸出不可能となり、市場は勿論産地に於ても影響を受け製品の方針更に舊態に復しつゝあり。

鐵商 主なる邦商は三井、大倉、武齋、合信洋行とし、其他仲買鐵商十三戸あり、支那人の主なるものは二十二戸外に釜、鍋商は二十五戸の多きを見るべし。

鐵工場 邦商三井鐵工場、三友工場の二戸外に外人經營の北洋機器公司、立發公司あり、支那個人經營のものは北洋鐵工公司の外二、三戸あり、官營には太沽造船所、造幣局、北洋製煉所等とす、

鐵價

澤州産	新鍋、産地にて	八百六十弗	天津着	一噸	六十一、弗
	二十噸貨車一輛	九百弗	同	同	六十六、七弗
平定産	鐵板	同	同	同	七十六、七弗
	灰	同	同	同	七十七、八弗
澤州産	新鐵白色物	同	同	同	六十六、七弗
	灰白色物	同	同	同	六十一、二弗
澤州産	熟鐵	同	同	同	七十七、八弗
	熟鐵	同	同	同	六十六、七弗

天津に於て鍋鐵鎔解所より製出する鎔解鐵も山西鐵の一種として算することを得べく、其價格一噸五十八弗とす。因に天津武齋洋行の如きは昨年産地と先物契約を爲したるに鐵價暴騰市況般盛の爲め、現品受渡に多少の手加減を爲し契約履行に至らざりし爲め同行は屢々現品の受渡要求中今春に至り俄然鐵價の暴落を見るに至りしが一方支那側にては市況の形勢不穩なるを見て取り突然契約數を輸送し來りしも武齋洋行にては既に契約期日に引渡しを爲さざりしを

理由とし其受授を拒絶せるや遂に双方の行掛り上訴訟を提起するに至り今尙繫争中にありと云ふ。

在荷 目下天津に於ける在庫品は天津倉庫、大連倉庫、其他奥棉行、大通棧、中松貨棧及野積のものを合し約一萬九千噸其外天津に於ける鍋釜類約七千噸合計二萬五千噸内外なるへし。因に昨年より本年に涉り天津より輸移せる數一萬三千三百六十噸に前記二萬五千噸を合したる數三萬四千六百六十噸は天津に移入せるものにして此内約二割を外國輸入品と見るときは昨年より本春に涉り山西鐵の天津に入るもの實に二萬七千六百八十噸となるべし。要するに天津に於ける目下の鐵況は實に慘憺たるものにして市價の亂調と銀元騰貴の爲め全く混亂中にあり。

◎江蘇省鳳凰山鐵鑛の價值 支那新聞の報ずる所に依れば、南京秣陵公司商人株主代表陶錫三氏が英佛兩國の鑛山技師を隨へ鳳凰山鐵鑛の調査を行ひたる處含有鐵鑛量は僅かに二百萬噸に過ぎざれば巨資を投ずるには餘り貧弱なりとの報告に接し關係者をして啞然たらしめしが、右は曾て鳳凰山の山服數十支里に亘り露出せる石塊中に多量の鐵分を含有し某専門家は分析に依り含有量百分中七四%ありて漢治萍より遙に良質なるより遽かに國內は勿論列強の注意する處となり、幾多の經緯を経て遂に南京の官民共同して秣陵公司を設立して同鐵鑛の採掘を開始するに至りたるものなるが、這回の調査に依り曩の分析はは山面露出の鑛石に

依りて得たるものにして採掘は埋藏鑛物中に於て再び見出すこと能はず、唯表面一部は鑛物に限られたるものなるべし鑛量亦前記二百萬噸に過ぎざれば將來大規模の計畫を爲すの價值なきものと認らる云々。

◎新豐鐵鑛概況 南京秣陵市新豐鎮靜龍山鐵鑛は元來鳳凰山の支脈に係り鐵質良好にして鑛層極めて厚く現に南京にて新豐公司を組織し資金を集めて開採に著手することゝなれり、曩きに江蘇實業廳長張軼歐氏は該公司に代りて農商部に開採認可を請願したるに愈々採鑛許可證の下附あり。本年二月一日正式に成立し事務所を石欄街に設く工程處は新豐鎮に置くこととなれり、資本金は四十萬元と定め先きに發起人より創立費五萬元を出資し上海に於て株式募集せしに早くも十五萬元の引受けを見たり、其株主姓名は引受株數及株主會議の狀況且つ公司章程等を實業廳に報告し理事には陶深晉、謝元量、袁滌庵、三氏を推せり、將來採出事には陶深晉、謝元量、袁滌庵、三氏を推せり、將來採出せし鑛塊は大陸公司代表張審氏の設立する浦口鍊鐵廠に運搬する由、然かも該鍊鐵廠は資本二百萬元、既に新豐公司との間に靜龍山採出鑛塊を授受すべき契約せり、且つ大陸公司は新豐公司に代りて開採施工の計畫あるなり。

◎上海製鐵所擴張 上海に於ける半官半民の製鐵製鋼兩廳の製出に係る鋼鐵が出来榮え尙遺憾の點尠からざるに顧み、上海電車會社長陸伯鴻氏は株主を招集し浦東製鐵所を創立し外人技師を聘し新式機械を購入して製鍊を試みたる

に鋼鐵の成績甚だ佳良なる爲め本年早々製鐵所を擴張し品質優良なる鳳凰山株稜鐵鑛會社より鐵鑛石の支給を受くることに決定せり、歐戰の爲め破壞撃沈されたる船舶の補充建造は戰後に至るも尙引續き旺盛なるべく、特に黃浦江に一大造船所設立の計畫ある由に付き、浦東製鐵所の擴張は特別の支障無き限り實行さるゝものと觀測されつゝあり。

◎福建省鑛山借款彙報 昨年來李厚基は福建全省の炭坑及鐵鑛を抵當とせる借款問題は滙業銀行より日本金四百萬圓とし内百二十萬圓及圓銀五萬元を交付せり。然るに各方面の提議には全省の鐵鑛の外に炭坑をも入るゝは不可なりと反對し爲めに昨年末北京財政部に移され名稱を福建興辦實業借款とし總額を二百萬元期間を六箇年抵當は稅契屠稅及雜稅として借款は民國八年一月十一日、右に付當局に於て其調査の歩を進めつゝありと云ふ。

◎城門鑛鐵近況 九江縣仙居鄉城門山は縣治を距る西南約三十支里に在り、鐵鑛露頭は三個處ありて一は大窰坡に在り一は燒火山に在り他の一は金鷄嘴に在り、彼此連接せずと雖も其距離甚だ近し、その地質構成も亦相同じ、其鑛床の生成を考ふれば其の三處は皆接鑛床類に屬し總て火成岩と石灰岩と接觸せる處に生ぜるを以て也、大窰坡に在る者は延長約二千尺、廣さ約六百尺、燒火山に在るものは長さ約五百尺、廣さ約三百尺、金鷄嘴に在るものは長さ約七百

尺、廣さ約三百尺、鑛脈は赤鐵鑛にして含鐵量は約百分の五十%なり、發起人は王揖唐、李盛鐸、孫寶琦、徐樹錚、曾毓審、李經芳、夏偕復、盛澤臣、陳先迪、饒孟任、臧蔭松、夏謹生なりとす、同鑛山は光緒三十三年盛宜懷が汪承裕を潯陽鐵廠に派遣して購買せしものなり、即ち土地四百九十八畝五分其價格四千三十七兩六錢にして當時双方契約を訂結せり、然るに翌三十四年五月に至りて盛宜懷は此土地を抵當として日本より百五十萬元を借款せり、然るに其後民國成立するや九江交涉局長等は右鑛山を外國人の手に入るゝは重大なる問題に屬するものなりとて運動の結果當時實業司長及鑛政科長等は上海に於て盛宜懷と會見し官有に歸せんことを要求したるが盛氏は外債擔保關係を名とし遷延遂に要領を得ざらしめたり、茲に於て光緒三十二年四月頃江西省財政司は購地費一萬元支出し濱湖を除き同鑛區の周圍の地を鑛地として五百三十二畝一分七厘二毛其購價三千百九十兩及三千三十二兩の二口を購入し其出路を斷つに至れり、其後政變に遭ひ遂に中斷せるが本年一月江西省實業廳は北京農商部の訓令に接し初めて城門鐵鑛を主としたる仙居鐵鑛公司の成立をなすに至れるなり、然るに江西省議會は同鑛山の所有權は全く省鑛業維持會のものなりと主張し李烈鈞と張勳を名譽會員とし正會長に主群副會長に黃文庸徐樹霖を擧げ幹事二十五名評議員五十九人を定め政府に肉迫し仙居公司の鑛業權の取消を電致強要しつゝあ

りと云ふ。

◎尼市附近の鐵鑛

黑龍江沿岸の鐵鑛は既に五十年前より喧傳せらるゝ所にして最近に至り各國企業者は競ふて實地踏査を試みつゝあるが、諸情報を綜合するに同方面の鐵鑛は利源として何等價値なしと信ずべき理由あり、即ち其重なるものは尼市の市街地を中心として北方山麓に至る褐鐵鑛の鑛床にして、鑛量は千萬布度若くは一億二千五百布度若くは一億二千五百布度と號するも未だ何等信憑すべき數量を知るに由なし。而して其鑛質はタナーエフ氏の調査の結果含有鐵分百分中四十三ありと發表せしため、一時世人の注目を惹起せしものなるが、最も良質なりと信ぜらるゝ北部附近の鐵分も尙ほ辛ふじて廿五乃至廿六パーセントに過ぎざれば到底鐵鑛として價値を認むるに由なしと。

◎支那製鐵近況

青島より歸來せる九州工科大学教授工學博士高壯吉氏は長江一帯の鑛山を調査せりとして語つて曰く、長江一帯は有望なるも石炭の役立たつもの無き爲め空しく寶庫を開拓する能はず、三井三菱大倉等必死となりて専門家を派し探査しつゝあるが發見する能はず、漢陽製鐵所は萍鄉炭を有する近時大擴張を計畫し居れるが、尙安徽省に三個の大鑛山最近に發見され支那人は鑛石のまゝ日本に賣る事を欲せず、自ら製鐵所を企業して東洋第一のものたらしめんと計畫し居れるが事業より先に利益の分配を

欲する連中の事としてモノにならざるべし云々。

◎米國高と銑鐵

内地銑鐵家は運貨其他の關係上高値の原料品を使用し、又石炭骸炭高にては百三十圓の原價を算出し米國物又高く英國物は輸入不能のため相當高氣配なるべきも内地が勞働問題に脅威せられたるため需要減少したるより百四十圓を割、八月頃の高値より二十圓方下押したるが、買手は百廿五圓以上ならば買氣なく鑄鐵家は斯る安値にては賣るべくもなければ自然市況ボンヤリなるも、本邦一ヶ年消費高六十萬噸に對し製造家側四五萬噸問屋側二三萬噸の在荷に至らば品消化と米國高とに因り相當の價格を表すべきか。

◎英國鐵類市況

日本内地の市場沈靜に引換へ英國市場は益々騰貴し、十一月下旬に比すれば更に五六分方の強調子を見るに至りたるも市場は活況を呈し需要増加の傾向あり、十二月一日三井物産着電に依る市場價格左の如し。

△クリーブランド銑鐵(英國もの)百廿圓瑞典もの百八十一圓五十錢△鐵板十六分三吋以上(英國もの)二百八十三圓三十五錢△(大陸もの)二百九十一圓十錢△薄板(英)三百三十二圓八十錢(大陸)同上△薄鐵二十七枚四百二十二圓△平板六十枚五百六十五圓六十錢△ナマコ板五百四十一圓△チンプレート百七十封度四十六圓六十七錢百封度二十五圓五十錢△棒鐵二百六十四圓十五錢△アングル二百卅二圓六十錢。

◎薄鐵板類軟弱 銖力は米國七八月積出のもの最近相次て入荷し、十八圓五十錢見當に賣捌かれ目前尙相當入荷あるべきを以て米國十二、一、二月積出沖着二十圓五十錢を唱ふれど、昨今の當地市場現物二十一圓は更に下押しあるべき模様なり、又薄鐵板は昨今品不足の爲め強硬にして十三枚物の如き噸五百二十圓を唱へ、日米國は生産減少需用増加の爲めに注文引受拒絶の姿なれど、最近英國より割安品の着荷續々ありて、緩和を見んとするものゝ如く、尙英國三四月積出は三百八十圓見當なれば市場價格は下押なるべく觀測せらる。

◎瑛瑯鐵器不況 七八九三箇月に亘り原料鐵板の高値なりし爲め、當業者孰れも製造を見合せたりしが、爾來原料の反動を示すと共に一齊に製造を開始し七八月に於て積出さるべかりしが海外注文を續々輸送したる爲め、印度及南洋其他の海外市場は荷凭れの狀を呈し、日本市場に比し一割安なるに至り、又昨今孟買市場への獨逸製品見積書が割安なるを相俟つて海外引合杜絶し頗る不味の成行にあり。

◎鐵類相場軟弱 銑鐵は英國に於ける輸出禁止を解除したる結果先物引合に對しては幾分恐怖的態度となり爲めに市況稍頓挫の傾向あれど現物に差したる影響なく大體百四十圓見當を中値として多少の取引行はれ、而して英國式物は百十五圓見當を唱ふるに至りたるも僅に試賣注文に

過ぎずして未だ大口の商内なく先づ目下の所形勢觀望の情勢に在り、鋼鐵は引續き賣行涉々しからず問屋筋は頗る手持無沙汰の氣味を呈し居れるが本國の強調と最近石炭供給不足に基因する積出遅延の入電に依り此際安値賣出を避け居れるを以て自然並吋棒七圓七八十錢、板八圓見當に保合ひ居れり、尤も特に在荷過多の寸法に在りては並吋棒七圓四五十錢見當の賣物ある由なるも开は薄資者が金融關係等に依る投物に屬し其數量極めて少量なるが如し、釘類は依然拂底を告げ且つ約定荷物益々遅延するを以て勢ひ相場昂進の傾向あり即ち○三五物廿四五圓見當也、平並板は更に低落の步調を辿り平板一枚二圓六十錢乃至二圓六十五錢見當に下押ししたるが是れ蓋し安値約定品入荷の影響なるが如く、併し乍ら本國相場は内地相場は内地相場に比し約二割高を唱へ居れり、銖力板は利喰の爲賣出を爲す者ありて引續き軟弱なる氣配となり百七十封度物四十圓百封度物廿一圓見當を唱へつゝあり。